

薬王寺門前町「永晴邸」が、趣とこだわり満載の店舗へ再生！

美波町門前町再生化事業として進められてきた、薬王寺の門前町・桜町商店街の古民家「永晴邸」の活用。「薬師如来をご本尊とする薬王寺門前という土地柄から薬膳の理念・身土不二をコンセプトに、阿波尾鶏や地元野菜など地域食材にこだわった中華そば・つけ麺店を」という松田徹時さんの事業計画が認められ、8月17日に「阿波尾鶏中華そば 藍庵(あいあん)」がオープンしました。

松田さんは東京都で中華そば店経営を続けながら美波町へ1ターーン移住し、新たなジャンルの中華そばに挑戦しての創業となります。これを機に新法人を設立し、こちらで育てたブランドの多店舗展開や東京への進出を目指していると言います。

また今回の事業は起業家の思いを中心に、地元企業が行政と金融機関の連携を進め、ブランディング支援を行う新しい地方創生・起業のモデルケースとなる事例でもあります。

自治体の支援や補助金に頼りきりにならない。力を持つ起業家がよりスムーズに起業でき、それが地域活性につながっていく。そんな美波発の新しい連携に基づいた起業・地域再生・古民家活用が始まっています。



オープン前日の8月16日に行われたレセプションの様子。今回の取り組みに参画した多くの人、そしてメディアが集まりました。



美波町の住民となった店主・松田さん(右)と店長を務める息子の笑太さん(左)。

■デュアルスクール制度を使ってお盆やお正月以外のお孫さんの里帰りを実現しませんか？

ご興味ございましたら下記までお問い合わせ下さい。

株式会社あわせ内デュアルスクール事務局 ☎70-5831

お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階

由岐地区：由岐ふれあいホール(ぽっぽマリノ2階)

制作：美波ふるさと創造広報チーム

